

平成26年度 第3回 尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨

日 時：平成27年2月9日（月）14時00分～16時05分

場 所：尾道市立大学E棟120会議室

出席者：尾道市公立大学法人評価委員会 堂本委員長、今岡委員、宜名眞委員、
高橋委員、豊田委員

事務局 戸成総務課長 小田原主任

公立大学法人尾道市立大学 中谷理事長、塩川理事、井上理事、灰谷教授
永田企画広報室長、土岸室長補佐

報告事項：1 平成26年度第2回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について
2 平成25年度決算報告書の変更について

議 題：1 公立大学法人尾道市立大学役員の報酬等の支給基準について

そ の 他：1 公立大学法人尾道市立大学 平成26年度主要な活動について
2 公立大学法人尾道市立大学 学生による活動報告
3 その他

施設見学

【報告事項】

1 平成26年度第2回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について

平成26年度第2回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について、書面審議の結果、全員一致で原案どおり承認されたことを報告した。

2 平成25年度決算報告書の変更について

公立大学法人尾道市立大学から提出された決算報告書に誤記があり、第2回尾道市公立大学法人評価委員会で審議を行った後に、法人が誤記部分の修正を行ったことを報告した。

【議 題】

1 公立大学法人尾道市立大学役員の報酬等の支給基準について

公立大学法人尾道市立大学役員の報酬等の支給基準について、審議の結果、尾道市立公立大学法人評価委員会の意見の申出はないことを確認し、その旨を尾道市に通知することを承認した。

【その他】

1 公立大学法人尾道市立大学 平成26年度主要な活動について

公立大学法人尾道市立大学より平成26年度主要な活動について説明があったのちに、委員から次の意見が出された。

1 教育：教養教育の改革及び専門教育の充実

地域に貢献する人材育成を促進するため、平成27年度から「総合科目」群を「地域・キャリア系科目」群に変更し、「インターンシップ」「キャリア形成演習」を「地域・キャリア系科目」群に移行することとした。

教養教育科目の充実を図るため、平成26年度から教養教育科目（日本歴史の流れ）を1科目新設した。また、平成27年度からの実施に向け教養教育科目（社会思想史、文章表現法入門）を2科目新設する。

経済情報学科の経済・経営・情報の各コースの必修・選択必修の科目等カリキュラムを明示し、コース制の内容について説明。平成27年度から教員2名を増員するなどの、体制づくりを図った。

「日文自己学習システム」により、卒業までの4年間で身につけてほしい技術や能力の目標を提示し、学内ポータルサイトに履修状況や学生が課題、覚書や学外活動などを学外活動などを自己評価シート等に入力し、教員の学生指導や学生の自己分析によるステップアップに活用している。

卒業・修了後の進路を見据えながら、学生個々の特性に合わせた個別指導を一層充実させた。

（委員） キャリア形成演習については、毎週行うのか。

広島大学では、1年生の全学共通で専任の教員が1回だけ行う。

（大学） キャリア形成演習の担当の専任教員を雇用している。

毎週、通常の科目として行っている。

2 研究：研究力の向上

サバティカル研修を平成27年度から実施するため、制度を策定した。

学内特別研究費への申請について、科学研究費補助金等への申請を義務付けるなど外部資金への申請を促進する取組みを行った。また、採択に向けた取組みとして研修会の開催等を行った。

（委員） サバティカル研修の期間を6か月以内としているが、短くないか。

研修期間を延ばすことはできないのか。

(大学) 授業等の関係もあり、6か月という事でスタートした。
落ち着いた生活もでき、十分な期間と考える。
他の教員のサポートがあつての制度であり、研修期間を延ばすことは、
考えていない。共通科目では他の教員がサポートできるものもあるが、専
門的なものはサポートが難しい。

(委員) 研修期間は、夏休みを含めるのか

(大学) 前期・後期を使っていく。

3 地域貢献：地域との連携強化

新校舎及びサテライト施設を活用し、市民が開催する展示会、イベント等への
貸出し及び公開講座など地域住民が集う場の創出を図っている。

(委員) サテライト施設は、どこにあるのか。

(大学) 商店街にあります。旧街かど文学館をリニューアルしたものである。
現在は、卒業・修了展を行っている。

(委員) サテライト施設で、公開講座を行う予定はあるのか。

(大学) 1月に経済情報学部が卒業論文の公開講座を行った。学生3人が発表を
行ったが、時間帯が18時30分からということもあり、市民が来場しに
くいものとなってしまった。

(委員) 委員もサテライト施設がある場所を知らない。広報の意識を変え、大胆
なブランディングを行ってもらいたい。

4 国際交流：新たな交流の推進

現在の海外交流提携校に加え、新たに台湾の大学との交流提携に向け、協議を
している。

(委員) 新たに台湾の大学との交流提携を行うとしているが、大学名を教えてほ
しい。また、それらの大学とは個別に協定を締結する予定か。

(大学) 国立嘉義大学、台北教育大学、開南大学、景文科技大学となります。
協定は各大学と個別に学術交流基本協定締結する予定である。それに基づ
き交換留学生の協定を締結する。そのうち2校は、今週台湾で協定を締
結する。

また、1校は春までに協定を締結するよう準備を進めており、残り1校
も協定の締結に前向きに進めている。

(委員) 今まで、交流をしている大学はどこになるか。

(大学) 中国の首都師範大学、大連外国語大学、ポートランド州立大学とは協定を結び交流を行っている。シドニー大学とは協定を結んでいないが、2か月の語学研修を行っている。

2 尾道市立大学の学生による活動報告の後に、次の意見が出された。

教育活動

芸術文化学部 日本文学科 4年生

現代語学について専攻し研究している

卒業論文「タイトルの略称にみられる造語法についての社会言語学的研究」

学芸員の資格取得するため、1年生の時から専門科目を受講

・卒業単位が取れば、卒業と同時に学芸員資格の取得となる

日本文学科は、少人数制で学べ、先生と生徒の距離が近い。

3、4年生で発表の機会があり、研究意欲が湧く。

(委員) 尾道市立大学で学芸員の資格を取得するに際し、良かった点は何か。

また、尾道市立大学で学ぶことで、学芸員の資格取得をしやすいか。

(学生) 担当の先生もやさしく、休日に学芸員資格取得の授業をしていただいたり、自分で現地へ行きにくいところは、バスを出してくれる等の大学のサポートがある。

(大学) 学芸員課程の規定授業を履修し、単位をとれば資格を取れる。

(委員) 学芸員の就職先は、どの様なところがあるか。

(大学) 美術館、博物館、公務員等になる。

(委員) 卒業後の進路はどうなるか。

(学生) 愛媛県内の市役所に採用されました。

尾道市立大学で学んでいること

芸術文化学部 日本文学科 3年生(留学生)

日本文学科で学んでいること

・古代から近現代に至る様々な作家と作品 ・中国文学と欧米文学

- ・日本の文化と歴史
- ・文芸創作
- ・現代の日本語語学

研究テーマ「留学生におけるコードスイッチングの規定要因と効果について」

- ・非日本語母語話者の間にどのようなコードスイッチングが起こるのか。
- ・どのような場合で、コードスイッチングが起こるのか。

文中コードスイッチング 文間コードスイッチング

- ・どのような効果があるのか
- ・コードスイッチングの使用状況、頻度、人間関係による結論

課外活動

- ・留学生チューターを担当
- ・日本人に中国語を教えている
- ・尾道の公民館の日本語コーナーに通っている
- ・すし屋でアルバイトをしている

私の夢

- ・日本語教師になること

(委員) コードスイッチングとは、日本語に訳すと何か。

経験上、留学をされている方も、初めから異文化に好感があるわけではなく反感から好感に変わり、その後、自国の文化を嫌になる。そして、自国に帰ると日本のことを悪く言う。

(学生) コードスイッチングとは、「言葉の切替え」になります。

日本に来る留学生は、元々日本の文化に興味を持っていて留学し、日本の文化の流れの中で、興味を増やしている。

(委員) 日本に留学される前にも、日本語を勉強していたのか。

(学生) 高校生の時に第2外国語として日本語と英語を選択していた。

(委員) 尾道市立大学を選んだ理由は。

(学生) 現代日本語学に興味があり、少人数で先生との付き合いも良いという事、また尾道が優しい環境であることから、尾道市立大学を選んだ。

(委員) 学部のレベルを超えたテクニカルなもので、とても素晴らしい発表であった。

地域貢献

芸術文化学部 美術学科 4年生

「ひとり食堂」という一人暮らし向け料理フリーペーパーを発行

・きっかけ

元々料理が得意 漫画やイラストを描くのが好き
後輩に何かできないか

学内のみでフリーペーパーから、自費出版へ

・10回程度自費出版したものを再録し、発行

中国新聞に活動が掲載された。タウン情報誌の取材を受けている。

県立図書館が資料として購入したいと問い合わせ有り。

書店（2店舗）で取扱いをしていただいている。

今後の展開

・Webや学外での展開を検討している。

（委員）フリーペーパーを発行し、書店に置いていると発表されたが、売れ行きはどうか。もっと目立つところに置いてもらうよう言ってみてはどうか。

（学生）12月から3か月ということで、置いていただいているが、自分で書店に行った際には、置いているものが減っていると確認している。

（委員）卒業後の進路はどうか。

（学生）大学院に進むことが決まった。その後は、就職するのか、別の形で創作をするのかは決めていないが、いろんなものを見ていきたい。

3 その他

（委員）公立大学法人尾道市立大学の平成27年度年度計画においては、可能な範囲で重点項目と数値目標を定め業務を行うことで、評価に繋げていただきたい。

【施設見学】

尾道市立大学C・E棟の見学を行った。